

# 平成25年度 第4回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年(2013年)5月30日(木)  
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 大神公民館 大ホール
- 3 テーマ 大神地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者16名 傍聴者16名



大神公民館での集会の様子

## 5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。大変お忙しい中、対話集会にお集まりいただき、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。大神地区は私の地元であり、育てていただいた地域です。市職員や市議会議員の頃から、大変お世話になってきました。今日地元に戻り、このほっとミーティングを開催させていただけることを大変ありがたく思います。また、大神地区には引き続き環境事業センターを引き受けていただくことになり、無事に7月から試運転を開始する予定です。皆様の御尽力に対して、改めて御礼申し上げます。

御存知のとおり、2年前に東日本大震災がありました。そこで、就任以降は市民の皆様の安心安全をテーマに取り組んできました。今、各地域に伺うと、安心安全や少子高齢化に関わる御意見を多くいただきます。これからのまちづくりに問われる課題であり、しっかりと対策を進めていきたいと考えます。

これまで、このほっとミーティングにていただいた御意見を参考にした施策も生まれています。今日も皆様の御意見を伺い、市政への反映を考えていきたいと思っております。今日いただく御意見や御質問に対して、この場で正確な数字などのお答えができないこともあるかと思っております。その時には、内容を担当課に確認して皆様にフィードバックさせていただきます。今日は忌憚のない御意見をよろしく願いいたします。

## 6 主な対話集会の内容

### ① 環境事業センターについて

#### 【参加者】

大神地区は苦渋の選択の末、新しい環境事業センターを受け入れました。この焼却施設については、永久に大神地区が引き受けていくのでしょうか。

#### 【市長】

新しい環境事業センターについては、御意見のとおり、大神地区の皆様は苦渋の決断の末、引き受けていただくことになりました。私はこのことを肝に銘じて大神地区のまちづくりに取り組んでいくつもりです。新しい環境事業センターは公が造り、民間への委託によって運営していきます。施設は30年の使用を前提に整備を行っていますが、今年から20年間の契約で民間が運営させていただきます。しかし、その先も大神地区にお願いすることは考えていません。その次の環境事業センターを検討する時期には、改めて建設場所を考えます。決して、永久に大神地区に引き受け続けていただこうとは考えていません。

#### 【参加者】

環境事業センターが大神地区にあること、受け入れを決断するまでの大神地区の思いを、他の地域の住民や市議会議員の皆様は理解するべきです。また、行政も地域の思いを忘れず、地域の声を聞きながら、大神地区のまちづくりに取り組んでほしいです。

#### 【市長】

私も、大神地区が環境事業センターを引き受けていただく苦渋の選択には立ち会いました。御意見のとおり、大神地区のまちづくりを考える時、このことを真摯に受け止めていく必要があります。市議会議員の頃、年に2回くらいは環境事業センターの質問をしました。正直、市議会の中でも大神地区の御苦勞が伝わっていない時期もありましたが、今は市議会議員も理解を示していただいています。大神地区が引き受けてくれたことで、平塚市だけでなく、二宮町と大磯町との広域ごみ処理が成り立つことも、広く理解していただく必要があります。できるだけ多く、このことを発信する努力をしていきたいと考えます。

#### 【参加者】

現環境事業センター跡地について、見附台緑地のように芝生を植えて広場にしてほしいです。例えば、多目的グラウンドになれば、高齢者の健康づくりにも役立ちます。

**【市長】**

現環境事業センターの解体については、はじめに解体の準備をする必要があります。当然、解体計画についても、地域にはお示しさせていただきます。また、跡地の利用については、地域の皆様のお声を聞きながら進めたいと考えます。財政的な課題を解決することと稼働中の環境事業センターをある程度落ち着かせてからの解体になります。来年度辺りから、解体と跡地利用の検討を進めたいと考えます。

**【参加者】**

焼却施設はイメージが非常に悪いです。悪いイメージを払しょくするために、外観などには配慮されているとは思いますが。また、今検討されている余熱利用施設の建設は、そのイメージを払しょくする大きなチャンスであると思います。余熱利用による施設は、高齢者の介護予防や子どもの運動など、多くの人が利用できる施設が良いと思います。例えば、余熱の利用なので、温水プールなども一つの方法です。

**【市長】**

余熱利用についての検討は進めています。環境事業センターの焼却施設から発生する熱を利用し、高齢者の方から子どもまで、幅広い市民の皆様が利用できる施設を考えていきたいと思えます。

## ② ツインシティ計画・相模小学校移転・大神公園プールについて

### 【参加者】

ツインシティの計画について、進捗状況を把握する手段がありません。公民館を利用した地元説明会の実施や回覧による会議の結果報告を行ってほしいと思います。また、パブリックコメントを実施し、地域の声を計画に活かしてほしいです。

### 【市長】

大神地区の皆様が15年から20年の御苦勞をかけていただいていた、平塚市北部のまちづくりがツインシティ計画です。はじめは、東海道新幹線で2番目に長い新横浜駅と小田原駅の間に新幹線新駅を誘致する計画でした。検討の結果、まず新駅を誘致する開発は難しくなり、橋でつないだ大神地区と寒川町の倉見地区両方のまちを発展させる計画になりました。実は、今日の午前中もJR東海の本社に伺い、新駅の要望を行いました。JR東海からは、ツインシティ計画によるまちが発展した後であれば、新駅をすることもできるとの話でした。将来、新駅を呼び込むためには、魅力あるまちづくりが必要です。そこで、まちを整備しやすくするため、「さがみロボット産業特区」の申請を行いました。特区の申請により、ツインシティのまちの価値や可能性は大きく広がりました。今年度中には、ツインシティの都市計画を作りたいと考えています。

今、交通インフラが整備され、圏央道は平成26年に完成し、新東名高速道路の建設も進んでいます。このツインシティを計画する平塚市北部は神奈川県南側地域の核になる可能性があります。ツインシティ大神地区土地区画整理組合設立準備会と協力しながら、長年の計画が形になる年になるよう取り組んでいきます。地元への説明や地域の声を生かすことについても、今後の対応を考えさせていただきます。

### 担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

本市では、総合計画「生活快適・夢プラン」の中で、ツインシティ大神地区を、本市の「北の核」と位置付け、都市基盤整備を進めるため、地元組織の支援や都市計画手続きなどを進めています。

ツインシティについては、これまでも大神公民館などで説明会を開催してきました。また、自治会会員などで構成し、地域住民への情報提供などを行う「ツインシティ（大神地区）推進委員会（事務局は神奈川県と本市 以下、推進委員会）」では、推進委員会ニュースを発行して回覧などを行っています。今後

も引き続き情報提供に努めてまいります。

また、パブリックコメントについては、長年にわたる地元の皆様の検討を踏まえた大神地区まちづくり計画を昨年4月に策定する前に実施しています。今後、必要と考えた場合には実施してまいります。

なお、都市計画や土地区画整理事業の説明会などの際には、情報提供に努めてまいります。

(事務担当は都市整備課ツインシティ整備担当)

**【参加者】**

ツインシティ計画はこの大神地区が大きく変わる計画です。大神地区には病院がありません。ツインシティ計画における、大神地区への病院の誘致について聞きたい。

**【市長】**

病院の誘致については、ツインシティの中に手をあげていただいている病院もあり、県の審議会でも了解を得ています。あとは、どのような形でどこに建設するかを検討する必要があります。大神地区に病院を呼び込むことは、この地域の長年の悲願です。この病院の完成は、平塚市北部の皆様の健康や安心安全にもつながると期待しています。

**【参加者】**

大神地区を東西に走る新幹線の側道には空き地があります。土地は市に移管されたと聞いていますが、空き地には雑草が生い茂っています。景観上、防犯上も良い環境ではありません。空き地も含めた新幹線の側道を整備すれば、生活道路や災害時の避難経路として役に立つと思います。また、ある人の研究では、新幹線の側道は通学路として最適であるとのことでした。

**【市長】**

新幹線の側道の整備については、毎年JR東海に話をしています。側道の空き地にはJR東海が所有する土地もあり、所有権などを確認しています。草刈りなどは定期的にお願していますが、生活道路や避難経路のために空き地や側道を整備することについては、なかなか理解を示してくれません。これからも、土地の移管も含めて根気強く話を続けていきたいと考えます。

また、側道を上手に利用することについては、ツインシティ計画の中で検討を進める方法もあると思います。

**【参加者】**

相模小学校の移転について、様々な会議が行われていると思います。しかし、

地域の住民はどのようなことが話し合われているか分かりません。会議の結果報告について、公民館や回覧を利用して行ってほしいと思います。

**【市長】**

相模小学校の移転は、環境事業センターを大神地区で引き受けていただく条件であり、移転を実現させる必要があります。今の計画では、ツインシティの一部を市が買い取り、そこに移転させる予定です。2万平方メートルの規模を考えています。教育委員会や都市整備部、環境部が一体となって計画を進めています。平成30年4月開校予定で、決して遅れてはいけないことです。しっかりと計画を進めていきます。計画や進捗状況については、定期的に説明を行っていきたいと考えます。

**【参加者】**

相模小学校の全校児童は約420名で、約3割の児童は田村地区の子どもです。そこで、相模小学校が移転した時、相模小学校に通う田村地区の児童の学区はどのようになるのでしょうか。例えば、神田小学校に通うことになった時には、学級編成や受け入れる学校施設に課題があります。

**【市長】**

相模小学校が移転する時、学区の編成は大きな課題です。まず、田村地区の児童が神田小学校に通う場合でも、神田小学校は大きな改修を行わずに受け入れられることを確認しています。また、新しい相模小学校についても、最低限各学年2クラスずつを維持できることが計算されています。さらに、ツインシティによって約3,000人から3,500人の人口が増えるため、その中から新しい相模小学校に通う子どももいます。学区の編成や時期については、大神と田村の地区自治会連合会や小学校PTAなどと協議する必要がありますので、検討を進めています。

**【参加者】**

大神公園のプールについて、運営は大神自治連合会に委託されてきました。しかし、今年から民間業者に委託されることを聞きました。短い夏休みですが、プールは地域のふれあいの場であり、地元の学生の身近なアルバイト先として運営されてきました。民間への委託は、このような地域のまちづくりに逆行すると思います。さらに、夏休みは約40日間です。委託によるプールの開放は20日間だけということにも納得できません。また、今回のことについて、地域への説明が不十分であったように思います。このようなことは、行政がきめ細かな対応を行わなければ、地域からは反発だけが生まれます。

## 【市長】

昨年の夏、神奈川県警察本部から通達がありました。有償でプールの監視を委託する場合、委託先は警備業の認定を受けた警備事業者でなければならないということでした。大阪府の泉南市で起きたプールでの事故が理由とのこと。私も毎年開園式には出席させていただいており、地域の若者には一生懸命取り組んでいただけてきました。委託にかかる予算から、プールの開放を30日間は確保できることの報告を受けており、30日間の開放を検討していますので、御理解くださるようお願いいたします。

また、地域への説明が不足していたことは、本当に申し訳ありません。再度、担当課に詳しい経緯や開放日数などを確認して回答させていただきます。

## 担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

4月15日（月）、大神自治連合会役員に今年度のプール運営委託に関わる運営形態の変更と開催日数が昨年度より減ることを説明させていただき、地域への説明は開催日数や昨年度との違いについてのQ&Aを作成のうえ、自治会回覧にて周知することになりました。

6月5日（水）、大神自治連合会と今年度のプールの運営形態と開催日数について、再度話し合いました。今年度の開催については、当初の7/26（金）～8/18（日）の24日間から、6日間延長の30日間にて合意に至りました。ただし、延長分の日程については、決定次第市へ報告することになりました。

6月6日（木）、自治会からプールの延長分の報告があり、平成25年度のプールの開催期間を7/26（金）～8/24（土）に決定させていただきました。

なお、自治会回覧用のQ&Aについても、作成が終わって自治会役員にお渡ししています。

御理解、御協力の程よろしく願いいたします。

（事務担当はみどり公園・水辺課公園管理担当）

### ③ 防災対策について

#### 【参加者】

大神地区の避難所は神田中学校です。他に避難所になる学校はありません。災害時、神田中学校までは距離があって避難できない地域もあります。例えば、港地区では競輪場が避難所になっていて、大神地区には新しい環境事業センターや東部福社会館もあります。避難所は地域に近い施設が良いと思います。

#### 【市長】

競輪場には、選手が寝泊まりするためのお風呂などの施設があり、災害時の避難所として利用できます。当然、大神地区の避難所として、新しい相模小学校は指定されると思います。新しい環境事業センターや検討中の余熱利用施設についても、避難所としての利用を考えていきたいと思います。

避難所とともに、今後は川を溯る津波への対策を考えます。東日本大震災では、津波の被害が甚大でした。南側の地域では、津波避難ビルの指定が70か所ほどになり、約6万8千人の避難場所を確保できました。しかし、津波は川を溯る可能性があり、この大神地区も相模川に面した地域です。相模川の右岸である平塚市側は90パーセント以上の堤防が整備されていますが、川を遡上する津波への対策も進めていきたいと考えます。

#### 【参加者】

災害時要援護者の支援について、対策が進んでいないように思います。明日起こる可能性がある災害に備え、早急に対応すべき課題です。制度が地域に根付いていないように思われます。

#### 【市長】

災害時要援護者の支援について、地域の皆様の取り組みのおかげで、この地域には大神モデルができています。市内においても、先進的な地域です。災害時要援護者登録制度が進まない要因は、助けてもらう人を登録するために助ける人の登録も必要になることです。今、防災や福祉の担当部署では、災害時要援護者支援の方法について、大神地区をモデルにしながら具体的な検討を進めています。

#### ④ 財政・予算について

##### 【参加者】

行政のまちづくりの基本は予算です。平塚市の予算の現状や仕組みについて聞きたい。

##### 【市長】

平塚市の予算の大枠について、今年度の一般会計予算は約827億円です。病院事業は企業会計で、競輪や介護保険、国民健康保険などの特別会計は7つあります。その全てを合わせると、約1,716億円の予算になります。一般会計予算を人口約26万人で割ると、市民1人にかかる予算は約32万円です。企業会計や特別会計も含めた全ての予算においては、1人約66万円になります。また、借金について、平成24年度末で約1,114億円です。平成23年度普通会計決算における人口1人当たりの地方債現在高は、神奈川県内19市で下から2番目です。

##### 【参加者】

私は北海道夕張市の出身です。夕張市は財政が破たんした自治体です。平塚市のことを考えると、今、環境事業センターや市民病院の整備、新庁舎の建設があります。大きな予算がかかる事業で、平塚市の予算が心配です。

##### 【市長】

御意見のとおり、3大事業を進めさせていただいています。新庁舎については、約120億円の予算がかかりますが、約70億円は貯金を使います。環境事業センターや市民病院の整備にかかる予算を含む一般会計の約半分は税込です。その他は、国や県の交付金、事業に付随する予算、そして借金です。それぞれの代において均等な負担をいただく考えのもと、借金をしています。

今の課題は少子高齢化による負担額の増加です。高齢福祉や障がい福祉、生活福祉、児童福祉などの社会保障を進めるためには、自治体が負担せざるを得ない費用が増えます。また、今、産業を活性させてお金を生むことにかかる予算も必要です。日本全国で人口は減少し、平塚市も同様です。限りある予算の中、重点的に予算をかけられることのお示しをしながら、まちを維持して魅力化を図ることへの予算編成を考えています。

## ⑤ 教育・地域の活動・子どもの安全について

### 【参加者】

地域の行事やイベントへの子どもの参加が少なくなりました。行政や教育委員会からは、子どもが積極的に地域活動に参加できるような指導を行ってほしいです。小さい頃からの地域とのふれあいは故郷に対する愛着を育み、地域のふれあいの中で育った子どもは、地域のために活躍してくれる人材に成長します。

### 【市長】

子ども会は市内全体においても減っています。課題は子ども会参加に伴う親の負担などがあります。青少年問題協議会では、子ども会のあり方を研究しています。地域の活動に子どもが積極的に参加していただけるよう、子どもを巻き込んだ地域の活動を進めていただきたいと思います。御意見のとおり、地域の中で育った子どもは地域への愛着を持ちます。地域の子どもは地域で育てることが一番良いことだと思います。

地域の活動については、今後、公民館の役割が大きくなります。平塚市は全国でも珍しく、概ね各小学校区に1館ずつ公民館があります。公民館では、生涯学習や社会教育が展開されていますが、これからの公民館には地域づくりの拠点となってほしいと考えています。公民館や町内福祉村を中心として、地域づくりや子育て支援、高齢者の見守りなどを進めていただくことが、これからの地域づくりの一番良い方法であると考えます。また、地域づくりに関する予算のかけ方についても、今年度の自治会関係の予算については、意向のあった地域に対して単位自治会と地区連合会の交付金を統合し、一括して交付することにしました。今後は、それぞれの地域で美化やごみ、体育振興など活動の目的を指定せず、地域の活動に応じたお金の使い道を決めていただけるような交付の方法を目指していきたいと考えています。

### 【参加者】

子どもの通学時間帯には、交通安全協会や地域の方が子どもの見守りをしてっていますが、危険な走行をする自動車が多くて心配です。神田中学校北側の交差点は交通事故が多く、以前は信号を設置する話があったかと思います。その後、信号の設置や安全対策はどのようになっていますか。

### 【市長】

地域の皆様による、子どもの安全を守っていただく取り組みを本当にありがたく思います。

以前、通学途中の子どもの列に車が突っ込む事故があり、全国的な問題になりました。教育委員会では、早急に通学路の安全点検を実施しました。各学校の危険度の高いところについては、昨年度中に標識設置などの対応をさせていただきました。

神田中学校北側の十字路には注意喚起はありますが、確かに危険を感じる場所です。退避場所などの条件はありますが、再度信号の設置を考えさせていただきます。

また、相模小学校は安全モデル地区として、横断歩道前の注意喚起の色を変えるなど、様々な取り組みをしていただいています。子どもの安全を守る、交通安全については、より一層の対策を考えていきたいと思えます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

信号機については、公安委員会（警察）の管轄になっていきますので、御要望の内容を平塚警察署に伝えたところ、「信号機を設置する場所の選定については、交通量が多いことや近接した場所に信号機がないこと、信号機の建柱場所や信号待ちの歩行者、自転車等の滞留場所があること、信号待ち車両の交互通行の確保等が条件に挙げられます。当該箇所について確認したところ、現状では、交差点東側の南北を通る歩道の下には農業用水路があり、信号柱を建てることのできないために信号機を設置することができません」との回答をいただきました。しかしながら、当該地は神奈川県交通安全対策協議会により、交通事故の多い箇所を改善する目的で指定される「平成25年度の交通事故多発区間（地点）対策」の取組箇所に指定されました。これを受け、平塚警察署、本市道路管理課と信号機設置の代わりとして何ができるかを協議しました。その結果、警察の対応としては、交差点北側の一時停止ラインについて、平成25年2月4日に神奈川県警本部に補修の上申をすでにしており、曲がっている標識については、交換することとしました。また、本市道路管理課の対応としては、交差点の東西道路にあるセンターラインを補修することとしました。

（事務担当は交通政策課自転車対策・交通安全担当）

本市教育委員会では、昨年度、学校やPTA、道路管理者、警察等と通学路の合同点検を実施し、安全対策への取り組みを進めてまいりました。今年度も引き続き児童生徒の通学路の安全確保に努めてまいります。

（事務担当は教育総務課学務担当）

## 7 市長によるまとめ

本日は皆様の取り組みの中から、貴重な御意見や御指摘をいただきました。持ち帰らせていただき、担当部署にて検討させていただきます。

まちづくりの主役は地域の皆様です。そのために、私は皆様がこれからも平塚市に長く住み続けたいと思っていただけるようなまちづくりを、責任を持って進めさせていただきます。皆様においてはこれからも、この地域を愛して地域を良くしたいという思いでまちづくりに御尽力いただき、平塚市の発展につなげていただければ本当にありがたく思います。

大神地区には平塚市だけでなく、二宮町や大磯町のごみ処理も行う環境事業センターを引き受けていただきました。このことを真摯に受け止め、これからも大神地区のまちづくりに取り組んでいきます。今日は本当にありがとうございました。

## アンケート結果報告

【回答数 26件（参加者 14件 傍聴者 12件）】

### 参加者・傍聴者について

#### 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
1名	1名	1名	1名	15名	7名	0名

#### 性別

男性	16名
女性	5名
回答なし	5名

**質問1** 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	3名	4名	7名
ポスターやチラシ	0名	0名	0名
町内会など地域から	10名	6名	16名
市ホームページ	0名	0名	0名
その他	1名	1名	2名
回答なし	0名	1名	1名

**質問2** 市長との対話はいかがでしたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	7名	5名	12名
まあよかった	5名	4名	9名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	2名	2名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	2名	1名	3名

**質問3** 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

- 回答**
- ・時間が短かった。
  - ・参加人数が多い。

**質問4** 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

**回答**

伝わった	4名
まあ伝わった	6名
どちらともいえない	0名
あまり伝わらなかった	2名
伝わらなかった	0名
回答なし	2名

**質問5** 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。  
(参加者対象)

- 回答**
- ・なし

**質問6** 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

- 回答**
- ・市長と直接対話ができ満足感を感じました。
  - ・もう少し意見交換がしたかった。
  - ・もっと深い話をしたかった。
  - ・対話のテーマに偏りがあった。
  - ・住民の考えがわかった。
  - ・対話は良かったが、質問者が勉強してほしかった。
  - ・地域の課題を改めて確認できた。